



TJ-Link 実践事例-06

福島県新地町立尚英中学校 田野入秀浩先生

中学校	1 年生	特別支援学級
-----	------	--------

単元名 : 総合的な学習の時間

実践タイトル	プログラミング教育「センサーカーを動かそう」
--------	------------------------

ICT 機器	TJ-Link デジタルカメラ（複数台） PC プロジェクター
--------	---------------------------------

授業のねらい	全員（最大で6名）のセンサーカーの動きを撮影し、その動きを振り返りながらプログラムの改良点を確認させたり、授業のまとめで成功例を共有させる。
具体的な活用	—授業の流れ— ・生徒が考えたプログラムを入力されたセンサーカーの動きを撮影 ・動きを振り返りながらプログラムの改良点を確認 ・授業のまとめで成功例を共有 —公開授業— 2015.11.5 : 文科省・総務省の視察 2015.11.18 : 新地町 ICT 活用発表会
実践の効果 (感想)	◆TJ-Link 活用で短時間でパソコンに動画を転送できるのでセンサーカーの動きを確認させる タイムロスが少なかった 。 (この時間では行わなくて済んだのだが、) ◇友達センサーカーの動きと比較をして自分のプログラムの改善点を考えさせようと思った。